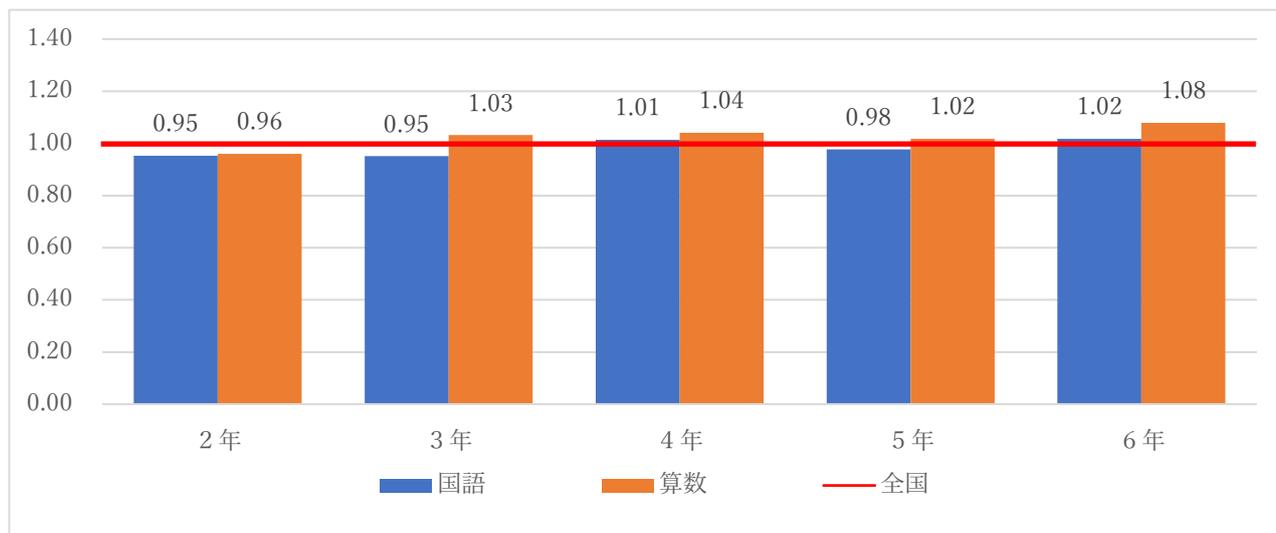


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第七中学校区 南小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	漢字の書き、修飾語、語彙の豊かさ等「言語力」全般に課題が見られる。このことは、条件に合った文章を書くことや内容の正確な読み取りの弱さにもつながっている。漢字や言葉の習熟と共に、条件に合わせて内容をまとめる等、言葉を自分のものとして豊かに扱える力を育てていく。
	算数	小数の計算や図形、単位の換算等に課題が見られる。小数位取りの理解や正確な計算力といった基礎基本を定着させるとともに、図形学習においては、空間認識を養うような学習活動を工夫し、児童の数学的な見方・考え方の育成を図る。
全国学力・学習状況調査	国語	敬語の使い方や同音異義語の漢字の書き取り等に課題が見られる。教科学習のみならず、学校生活全般において、適切な言葉遣いを意識させ、指導していく。
	算数	割合や図形の設問に課題が見られる。特に、図形問題に関しては、「底辺」「高さ」等の算数用語の理解だけでなく、それらが表す意味やそれらの位置関係をとらえられるような問題設定を行い、図形を多面的にとらえる数学的視点を育てていく。
	質問紙	「早寝・早起き・朝ご飯」といった基本的な生活習慣において全国平均より下回っている面が見られる。また、「自分には良いところがある」と感じている児童も割合が低い。生活の基盤となる基本的な生活習慣を整えることで、学習に向かうやる気や粘り強さを引き出し、物事を成し遂げた経験を重ねる中で自己有用感を高められるように、保護者とも連携しながら進めていきたい。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

小小、小中間で、あらためて互いの取組をよく見て、知る。その上でねやがわスタンダードを定着させる取組を実践していく。また家庭学習が本校区の重点課題と捉え、小中一貫した取組について研究する。

【 学 校 】

4月、7月、11月、2月に実施の校内学習状況調査や、1月実施予定の漢字検定に向けた既習漢字の復習テスト等を通して、きめ細かな児童の学習状況把握に努めている。また、校内研究テーマを「自分の思いや考えをもち、表現できる子どもの育成」とし、国語科と算数科の授業づくりに立ち返り、授業自体の流れや単元の組み立て、教員の発問や子どもの発言など授業の中身に焦点を当てた研究を進めていく。